大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2020年第36週(8月31日~9月6日)

今週のコメント

~ 感染症予防の基本 ~ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、 咽頭結膜熱 増加し

第36週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は前週比7.7%増の773例であった。昨年同週 比72.3%減(2019年 第36週2,787例)と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ1.94、0.59、0.41、0.32、0.28であった。

感染性胃腸炎は前週と同数の383例で、中河内3.15、大阪市南部3.06、南河内2.88、泉州2.10、大阪市西部2.00である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は9%増の81例で、大阪市北部1.00、北河内0.81、中河内0.80であった。 ヘルパンギーナは20%減の64例で、泉州1.00、大阪市南部0.78、堺市0.53である。

咽頭結膜熱は60%増の56例で、中河内0.70、泉州0.45、北河内0.38であった。

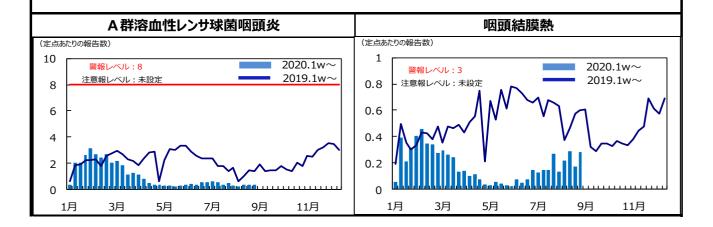


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2020年第36週8月31日~9月6日)

第36週 の順位	第35週 の順位	感染症	2020年 第36週の 定点あたり 報告数	前週比増減	2019年 第36週の 定点あたり 報告数	2020年第36週の 年齢別 患者発生数 最大割合値			
1	1	感染性胃腸炎	1.94	増減なし	3.86	10-14歳_16%			
2	2	突発性発しん	0.59	22%増	0.49	1歳_57%			
3	4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.41	9%増	1.41	6歳_17%			
4	3	ヘルパンギーナ	0.32	20%減	1.26	1歳_34%			
5	6	咽頭結膜熱	0.28	60%増	0.60	1歳_61%			
参考	_	インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.00	増減なし	0.27	15-19歳_100%			

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第36週のコメント

~日本紅斑熱~ 第36週時点の報告数は7例である

全数把握感染症

日本紅斑熱

日本紅斑熱は、紅斑熱群リケッチアの一種 Rickettsia japonica を起因病原体とし、野山でマダニに刺咬されることにより感染する。媒介ダニの活動が活発化する4月~10月に発生し、特に9月、10月は多い。自然界で保菌あるいは感染する動物として、げつ歯類、野生のシカ、イノシシなどがあげられる。潜伏期は2~8日であり、頭痛、発熱、倦怠感を伴って発症する。発熱、発しん、刺し口が主要三徴候であるが、必ずしも、刺し口があるとは限らない。発しんは、体幹部より四肢末端部に強く出現し、検査所見では、肝逸脱酵素の上昇、血小板の減少が認められる。治療には、抗菌薬投与が効果的であり、第一選択薬はテトラサイクリン系の抗菌薬である。また、フルオロキノロン系抗菌薬が有効であるとの報告もある。β-ラクタム系の抗菌薬は全く無効である。

感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)

日本紅斑熱(国立感染症研究所)



表 2. 大阪府全数報告数 (2020年 第36週8月31日~9月6日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】発生動向調査> 全数報告 をご覧ください。)

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3			2		1				99
4 類感染症	日本紅斑熱	2								2	7
4 規學来址	レジオネラ症(肺炎型)	1						1			72
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1						1			94
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1	34
3 規恩采集	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1								1	23
	梅毒	6	1							5	624
指定感染症	新型コロナウイルス感染症		54								9,045
結核	結核 新登録患者数:118名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 43名)										
(2020年7月分)	(府内累積報告数 834名、内 肺・喀痰塗抹陽性 304名)										

(2020年9月8日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の集計は、8月31日から9月6日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。

詳細はリンク先の情報をご覧ください。